

生物多様性の保全に向けた取組

生物多様性の保全に向けて実施している、取組の一部を紹介します。

人と生き物をつなげる（生物多様性の保全にかかわる環境教育や人材育成の促進）

市域の自然観察会



市域の様々な地域（多摩川や生田緑地等）で、身近な自然や生き物に触れる観察会を実施しています。

里山ボランティア育成講座



里山の再生を図るため、里山管理の担い手を育成する講座を実施しています。

活動ポイント事例集の作成



生物多様性の保全につながる活動の考え方やポイントをまとめた事例集を作成しています。

生き物をつなげる（生き物の生息・生育の拠点の創出、育成）

100万本植樹運動



緑豊かなまちづくりを実現するため市制100周年を迎える平成36年までに100万本の植樹をめざし、市民・事業者・行政による植樹運動を実施しています。

エコシティたかつ 学校流域プロジェクト



自然再生の過程や適正な水循環の仕組みを実感できるよう、学校にビオトープや雨水利用施設の整備を行うとともに、環境学習支援を実施しています。

情報をつなげる（生物多様性に関する様々な情報の収集と調査、発信）

市域の生き物調査



市域の生き物の生息・生育状況を把握するため、6つの「生態系エリア」毎に調査地点を定めて、四季の生き物調査を実施しています。

かわさき生き物マップ



インターネット上で市域の生き物情報を募集し、寄せられた生き物情報を四季毎の地図情報としてわかりやすく公表しています。

各主体における役割

生物多様性の保全を効果的に進めていくためには、市だけでなく、市民や市民団体、事業者等での積極的な取組や、多様な主体との連携した取組が必要です。

市民・市民団体

例えば…

- 環境に配慮したライフスタイルの実践
- 地産地消への理解、実践
- 自然体験などへの積極的な参加
- 生き物調査等への協力
- 花壇づくりや屋上・壁面緑化の推進等の地域緑化の推進
- 緑化の際にはできるだけ郷土種を利用する等の生態系への配慮
- 活動の情報、自然情報等の記録や他の主体への情報提供



事業者

例えば…

- 事業活動における環境配慮の実践
- 環境教育・環境学習の場の提供や出前講座等の協力、地域活動への参加や支援
- 緑地確保や緑化に当たっての生き物の生息・生育空間としての機能への留意
- 生物多様性の保全に寄与する新たな知見や技術の開発
- 事業者（企業）が単独又は団体等で自主的に策定している手引き、ガイドライン等を活用した取組の推進



期待される
主な役割



行政

例えば…

- 自然や環境保全について学ぶ環境教育・学習の推進
- 生き物の生息・生育の拠点となる農地や樹林地、水辺地等の保全
- 公共施設整備や緑化推進等による拠点の創出等、緑と水のネットワークの構築に向けた取組
- 生き物情報の収集と管理、情報のネットワークの構築
- 活動の情報共有や交流の場づくり

